

質問
QUESTION

安八温泉の 今後の運営は？

回答
ANSWER

老朽化対策を含め 抜本的な見直しが必要

「副町長」

質問 平成20年を境に、我が国の人口は減少時代に入り、各自治体とも、住民の流出防止対策に取り組んでいます。

当町においても、スマートICの完成を機に企業の呼び込み、道路の整備等、多くの施策を講じています。人口流出に歯止めをかける努力をされていること

は理解していますが、当町の総人口は最近の10年間で5111人減、住民の高齢化率は10%近く伸びを示しています。半面、成熟層は8・3%落ち込み、町税（自主財源）の減少に拍車をかけています。

このように、歳入の見込みが期待できない現状では、歳出を見直し、次世代に負担をかけない対策を考えねばなりません。

さらに、医療費、介護費、年金等社会福祉費の増大も懸念されます。

そこで今回は、歳出の大きい安八温泉の現状と、今後の対応について伺います。

安八温泉への入館者数は、年間約24万人で推移しており、近隣の日帰り温泉と同じような数字です。

近隣の温泉と比べて、

大きく違うのは収支のバランスです。安八温泉はもとも福祉目的の施設であり、入館料も低く設定され、そのため一般会計からの補てんに多くのお金が充てられています。

今後も継続的に運用するのであれば、補てん分の見直しを推し進めて、福祉目的の住民の憩いの場の確保と同時に、健全な運用方法が必要です。

併せて、施設も28年が経過して老朽化も心配です。施設の抜本的な見直しを含めて、安心で安全な施設として運営できるよう、思い切った改革が必要だと考えます。安八温泉の今後の運営方法について、町の考え方は？

回答

安八温泉は、多くの人が憩い、集う施設です。施設も28年が経過し、老朽化

も進んでいます。施設の目的は、福祉、健康増進となっており、健康ふれあいドームも併設し、ゲートボール、テニスなどにも利用されています。

入館料はリニューアルの際に見直し、経費の削減に取り組んできましたが、いまだ多額の町費が充てられています。

今後は、スマートICの完成やバス路線の開通により、町内外の利用をさらに推し進めなければなりません。施設

設の充実、拡充または、当町の名所、賑わいの拠点として整備していきます。

しかし、施設の老朽化をはじめ周辺の環境整備など多くの課題もあります。幅広い年代層に対応した新たな機能の導入など、老朽化対策を含め抜本的な見直しが必要と考えています。厳しい時期ですが、優先順位を定め、計画的、効率的に取り組んでいきます。



お 昭夫
あき 井
うす 昭夫



老朽化対策を含め抜本的な見直しが求められます